



野へ。人へ。

校長 関口 寿也

校舎の窓から眺める桜ヶ丘公園の木々が色づき始めました。今年は寒暖の差が激しく気温が急に下がりました。そういう年は紅葉が一気に進み、当たり年だとか。風景写真が趣味の私は気が気でありませんが、実はこれも温暖化の影響とされています。すなわち、四季のうち春秋が短くなり二季に近づくとのことです。そんなことを考えていると、四季を愛でるといふ日本の(日本人の)自然を肌で感じる文化や精神性が衰退してしまっているのではという寂しさも感じます。大好きなこの国土と文化が消えないことを願います。

先日、4年生の道徳科の授業を参観すると、なかなか奥深い物語資料を扱っていました。教科書に掲載されている『正直』五十円分」という物語です。あらすじはこうです。(道徳 光村図書 4年)



たけし君と弟のひろし君が野球の帰りにいつもの店でジュースを買います。店のおばちゃんからおつりをもらいますが、帰り道におつりが50円足りなかったことに気づき、店に戻ります。おばちゃんは「まあ、それは悪かったね。ごめんね。」と言って50円を渡してくれました。次の日、兄弟は人気のたこ焼き屋に出かけ、たこ焼きを買うのですが、たこ焼き屋のおっちゃんから手渡されたおつりが50円多いことにひろし君は気づきます。ところが並んでいる後ろの人に押しのけられ、50円多いお釣りをそのまま財布に入れてしまいます。公園で兄弟でたこ焼きを食べながら、兄のたけし君におつりが多かったことを話します。たけし君は財布の中のお金を確かめ、ちょっと考えてから、「返しに行くで。」と弟のひろし君に声をかけます。たこ焼き屋のおっちゃんに話します。「おっちゃん、さっきのおつり、間違えてたで。」「そうか。ごめんな。いくら足らんかった?」「ちがうんや。50円多かったから返しに来たんや。」おっちゃんはソースをぬっていた手を止めて目を丸くします。「おつりが少なかったと言われることはあっても、多かったと返しに来たのは君たちが初めてや。では、ありがたく受け取らせてもらいます。」と真面目な顔をして頭を下げ、両手で50円玉を受け取るのです。そして、出来立てのたこ焼きを3個ずつ2人に渡し、「はい、これは、2人の『正直』50円分に対する、おっちゃんのうれしい気持ちや。」と言うのでした。

この資料文のねらいは、「正直」はよいという価値観です。とかく現代は損得勘定(損得感情)で考えがちと言われます。子供たちにも損得で物事を考えさせることもあります。なぜなら考え方の筋道が明快だからです。この資料文のストーリーとしては確かに、「正直に50円を返しに行ったからお礼にたこ焼きをもらえて得した。」「正直な方が人からよく思われる、よい人に見られる。」とも考えられます。間違いではありません。しかし、自分が得したことだけにフォーカスするのでは人は成長しません。なぜなら、こう在りたいという生き方よりも、選択肢を天秤にかけて選ぶことに重きが置かれかねないからです。この資料文の素晴らしいところは、おっちゃんが多く渡してしまったおつりの50円を受け取る場面の描写です。「手を止め」「目を丸く」「ありがたく」「真面目な顔」「頭を下げ」「両手で」「うれしい気持ち」と言うように、繰り返し子供に対してであっても敬意を払い真摯に対するとこです。おっちゃんは、うれしかったのでしょう。幸せな気分になったのでしょう。その幸せのおすそ分けが、3個のたこ焼きだったのです。損得勘定(損得感情)ではなく、幸せのおすそ分け。目の前にいる人の様子や態度から伝わる幸福感が自分もうれしいからこそ、次も正直であろうとすること。もう一歩進んで、今度は自分が幸福感をおすそ分けする人になりたいと思うこと。それを導く一つの在り方が「正直」であるということ。正にこの資料文のねらいはそこにあるのではと思います。授業を受けていた4年生の面々が、そんな正直であることの温かさを感じていたことは言うまでもありません。

ネット通販が主流となってきて、「人」からモノを買うことが激減しました。同様に、日本(東京)の都市化は言うに及ばず清潔にはなりましたが「自然」を肌で感じることも減りました。温暖化による四季の鈍化やコロナ禍によるWebツアーなど、その傾向にますます拍車がかかっています。ネットやゲームなど画面越しに生活するのみでは、損得勘定(損得感情)は得ることができても、私たちが自然や人と関わったことで得られる幸福感を味わえるはずありません。生の「体験」や「交わり」は、人として欠くことのできない私たちの感受性や感性を刺激し、磨き上げてくれるはずなのです。その感受性や感性は、幸せの種そのものです。子供たちと共に、野へ。子供たちと共に、人へ。この国土と文化を大好きと思えるよう、これからも連光寺小学校は自然や人との関わりを学びの第一に据えていきますし、そんな人になってほしいと心から願っています。

11月の目標	
生活目標	体をきたえよう。
保健目標	姿勢を正しくしよう。
安全目標	放課後の安全な過ごし方を考えよう。
給食目標	好き嫌いなく何でも食べよう。
清掃目標	ごみの始末、道具の後片付けをきちんとしよう。

日	曜		11月の主な活動・行事
1	火		水泳指導(4) 避難訓練
2	水		安全指導 ☆
3	木		文化の日
4	金		水泳指導(5.6) SC勤務 ◇
5	土		
6	日		
7	月		月曜朝会
8	火		水泳指導(3) 脊柱側弯(5)
9	水		展覧会前日準備 ☆
10	木		展覧会(児童鑑賞日) 水泳指導(4) ★
11	金		展覧会(児童鑑賞日) SC勤務 ◇
12	土		展覧会(保護者鑑賞日)
13	日		
14	月		振替休業日
15	火		展覧会片付け(6) 水泳指導(1)
16	水	B	☆
17	木	B	委員会活動 ★
18	金		水泳指導(2) SC勤務 ◇
19	土		
20	日		
21	月		
22	火		たてわり話し合い
23	水		勤労感謝の日
24	木	B	クラブ活動 ★
25	金		社会科見学(4) SC勤務 ◇
26	土		
27	日		
28	月		水泳指導(2)(1)(5.6) 巨人軍体育支援事業(4)
29	火		子どもを笑顔にするプロジェクト(5) 食育出前授業(3)
30	水		☆

・あさ学ルーム ☆:低 ★:中 ◇:高 ・B時程:B

★外部人材の活用

総合的な学習の時間をはじめ、様々な学習の中で外部の専門家から直接学ぶ機会を設定しています。NAS聖蹟桜ヶ丘での水泳指導が始まりましたが、今月は、食育出前授業(3年)や巨人軍体育支援事業(4年)、体操の田中理恵選手が来校する子どもを笑顔にするプロジェクト(主に5年)などを予定しています。

★手洗い・うがいのお願い

ここのところ冷え込む日が増えてきました。今後新型コロナだけでなく、インフルエンザの流行も予想されます。今まで以上に手洗い・うがいの励行をお願い致します。また、検温をし、健康カードに必ず検温の結果を記録してください。よろしくお願い致します。

寒くなってきたせいか、最近風邪による欠席が増えてきています。体調管理にもお気を付けてください。

★展覧会について

10日(木)、11日(金)、12日(土)に展覧会を行います。平面作品と立体作品、学年の共同制作の展示を行います。各学年の作品につきましては、後日別途お知らせいたします。

10日(木)、11日(金)の15:00~16:00と12日(土)が保護者鑑賞日となります。今回の展覧会では特に時間による制限は行いませんが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から密を避けるよう譲り合って鑑賞してください。12(土)の午前中に児童が、保護者の方に向けて鑑賞ガイドを行います。児童は、ガイドの時間以外は、通常の授業となります。各学年のガイド時刻は以下の予定となります。

6-1、1-1 9:05~9:25

6-2、1-2 9:30~9:50

4-1、2-1 9:55~10:15

4-2、2-2 10:35~10:55

5-1、3-1 11:25~11:45

5-2、3-2 11:45~12:05

前の学年が早く終わった場合でも、予定を繰り上げて開始することはありません。鑑賞は、各家庭2名となります。

なお、今回もスムーズにご入場いただくために「検温票」を受付で提出いただくこととなります。

～ご協力をお願いします～

○持ち物：上履き、下履きを入れる袋、PTAの名札

○自転車で来校の際は、校舎東側駐車場に設けた臨時駐輪場に並べて置いてください。

○車やバイク(原付を含む)での来校は、ご遠慮ください。また、校門近くや体育館裏の路上での駐車や送迎のための停車は、近隣住民の方の迷惑になりますので、ご遠慮ください。

西門前駐車場(私有地)での方向転換もおやめください。

詳しくは、展覧会のご案内のプリントをご覧ください。